

ベトナムのテトとは？

【ルエン通信：第4回（2022年12月）】

1. ベトナム Tết (テト) とは？

テトはベトナムの旧暦のお正月です。テトは旧暦の大晦日から1月3日までです。旧暦のカレンダーなので、日付が毎年違います。だいたい1月下旬から2月中旬ぐらいになります。今年は1月22日が元旦でした。

ベトナム人にとってテトは年間を通して番大事な行事なのでこの時期になるとほとんどの人が実家に帰ります。

テトの1か月前から町中に色々な花の種類や贈り物、飾り物が販売されています。そしてスーパーや、カフェなど至るところでテトソングが流れ、街も人もワクワクした雰囲気になります。



2. テト前に何をする？

日本と同じく大掃除をしたり、食材をたくさん買い込んだり、おせち料理を用意したりします。

そのほかに

●家の飾りつけをします。

北部は桃の花、南部は、黄色い梅の花、キンカンや菊などを買いに行ってリビングに飾ります。桃の花は魔除け、梅の花は金運、キンカンはたくさんの実がなることから子孫繁栄という意味を持ちます。

●Mam ngu qua (mam グー クア) を用意してお供えすることもテトの特徴のひとつです。この Mam ngu qua は大きなお皿の上に五種類の果物が並んで、供物台で大晦日から三日まで供えるものです。

3. テトの食べ物は？

●テトの料理といえば、北部は **Bánh chưng** (バインチュン) や南部は **Bánh tét** (バインテト) が欠かせません。これらはもち米、豆、豚肉をバナナの葉などで包んで、12 時間ほど茹でたものです。**Bánh chưng** は四角形、**Bánh tét** は丸くて長い形のもです。(どちらもベトナムのちまきです)

●おやつ：お菓子以外はスイカ、カボチャやひまわりの種、ココナッツジャム等様々な果物ジャムがあります。

4. テトの行事

・大晦日の日：亡くなった先祖を迎えるため、大晦日の午後に食事を用意し、お供えしてお線香をたきます。

そして、家で **Táo quân** (タオ クアン) (という大晦日に放送される風刺コメディ番組) を見ながら、家族と過ごしたり、外でカウントダウンをして、花火を見て過ごしたりします。

・元日テト

この日、初めての来客者 **Xông đất** (ソーン ダート) は新年の幸運に影響を与えると考えられています。そのため、多くの方は初めての来客者を予め頼んで、自宅に訪ねることをお願いしています。また、この日は家族全員で祖父母の家を訪問し、新年をお祝いしたり、子供たちにはお年玉をあげたり、一緒に食事したりします。

・2日、3日は先生、友達、近所の家で新年のあいさつ回りをします。

3日には、また先祖を送るため、食事を再度用意します。

以上でベトナムのテトを簡単にご紹介しました。

ベトナム人にとってテトは家族団欒という意味を持っているので、テトに帰省できないベトナム人の皆さんとテトの期間(1月21日～1月25日)に新年をお祝い会が出来たらいいなあと思います。